

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 令和2年 2月10日

東京都作業部会確認年月日 令和2年 2月12日

事業名 燃料費、高速料金

案件名 フリート車両における燃料の調達

確認の視点		東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 本件は、大会関係者へ輸送サービスを提供するために必要な事業である。 ● 経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであり、メディア分を除くパラ経費の組織委員会2：国1：都1である。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> ● 大会運営の一環として行う事業であることから、運営主体である組織委員会が一括して執行することが効率的、効果的である。 ● 組織委員会が一括して実施することで、関係各部門との横断的な調整が可能であり効率的である。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● フリート車両にて大会関係者を競技会場へ輸送するために、必要な事業である。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕様及び数量は、過去大会の実績や燃費、想定走行距離等から算出して適正に設定している。 ● 経産省発表の調査価格を基に毎月単価を設定することで、燃料費が適正となるように精算することを確認した。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ● 執行見込単価は、過去の燃料価格等を調査することで、適正価格かどうか確認している。 ● 組織委員会から提示された仕様書、内訳書を確認し、納得性があると判断した。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 大会運営の一環として行う事業であることから、メディア分を除くパラ経費については公費負担の対象として適切である。 ● 経費按分については、想定走行距離等の積み上げにより適切にパラ経費を算出している。 ● 予算内であることを確認しているが、令和元年度末に、大会経費の都の枠内であることを改めて確認する。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。